

広瀬 隆 講演会

【核燃料サイクルの終焉】

青森県が核燃料サイクルの立地要請を受諾したのは、1985年4月9日のことでした。わずか8ヶ月あまりの短期間に、青森県は負の遺産を引き受けてしまいました。1991年の県知事選挙では、核燃推進の北村知事票は、金沢茂氏（核燃白紙撤回）山崎竜男氏（凍結）を合わせた票数の8割りにもなりません。民意は核燃に大きな不安を抱いていたのです。結果として、青森県は豊かな自然の恵み、観光資源、地場産業を生かしてきたでしょうか。核燃マネーは青森県をどのような体質に変えてしまったのでしょうか。膨大な放射性廃棄物が海外からも返還され、六ヶ所集中しています。

何より、私たちは、再処理工場がもたらす膨大な放射性物質の放出に危機感を抱き、英仏の小児白血病増加などを憂慮し、広く青森県民に、核燃料サイクル、とりわけ再処理工場の危険性を訴えてきました。現在、地下水から放射性物質が検出されるなど、その影響が出始めています。ここでもう一度、広瀬 隆 氏のお話を聞き、今ここで何が起きているのか、私達に何が出来るのか、再処理工場の稼働が2年延期になった今こそ、立ちどまり、一緒に考えて見ませんか。是非ご参加をお待ちしております。



広瀬 隆（ひろせ たかし）略歴

1943年東京生まれ 早大理工学部卒
 大手メーカー技術者 医療雑誌翻訳業を経て
 執筆活動に入る。『ジョン・ウエインはなぜ
 死んだか』『棺の列島』などの他、『私物国家』
 （光文社）『腐食の連鎖』『赤い楯』（集英社）『世
 界金融戦争』『世界石油戦争』（NHK 出版）な
 ど著書多数

◆共 催：青森県保険医協会
 核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団

◆協賛：青森県民主医療機関連合会・青森県労働組合総連合・青森チェルノブイリ支援ネット・
 核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会・三陸の海を放射能から守る岩手の会・滋賀県保険医協会・
 生活クラブ生活協同組合・京都府保険医協会・京都府歯科保険医協会・原水禁青森県民会議・
 青森県反核実行委員会

◆日 時：2010年11月14日（日）
 午後 1時半～4時

◆場 所：青森県労働福祉会館 大ホール
 青森市本町三丁目3番11号
 TEL 017-775-3751

◆参加費：無料

会 場 地 図



青森県保険医協会
 青森市松原 1-2-12 青森県保険医会館内
 TEL017-722-5483 FAX774-1326

問
合
せ
先

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団
 青森県八戸市根城 9-19-9 浅石法律事務所内
 TEL&FAX 0178-47-2321